



## 東京産業保健総合支援センター研修案内(令和2年2月～4月)

◇研修のお申し込みは、当センターのホームページから直接申し込むことができます。

◇当センターが主催する研修は、すべて無料で受講できます。

◇研修は当センターの研修室で開催しています。会場が異なる場合は表記いたしますのでご注意ください。

〒102-0075 東京都千代田区三番町6-14 日本生命三番町ビル3F TEL:03-5211-4480 FAX:03-5211-4485

URL=https://www.tokyosjohas.go.jp

## ◆認定産業医研修◆

※基礎研修は実施していません。認定証をお持ちの産業医の方が対象の研修です。

日時	テーマ	講師	単位	定員
2月4日(火) 14:00～16:00	<b>働き方改革と快適職場～産業保健に関する最新のトピックスについて解説します～</b> ソフト面の快適職場づくりの考え方について解説します。また、産業保健に関する最新のトピックスについても解説します。	古山 善一	生涯・更新2	70
2月14日(金) 13:30～16:30	<b>作業環境測定方法</b> 本研修は、産業医が毎月1回行うことになっている「職場巡視に役立てる」を主眼に、「デジタル粉じん計」や有機溶剤等有害ガスや事務所の一酸化炭素測定に用いられる「検知管」それに局所排気装置の性能検査で使われる「スモークテスター」「熱線風速計」等の実習を行います。	市川 英一 岩崎 毅	生涯・実地3	30
2月20日(木) 14:00～16:00	<b>多様な働き方と労働者の健康管理～新しい働き方をめぐる産業保健の動向～</b> 働き方改革実行計画では副業・兼業の推進、テレワークの推進など新しい柔軟な働き方がしやすい環境整備や治療と仕事、育児、介護のための両立支援、障がい者の就労、各種ハラスメント防止のための対策を推進していくこととなっています。 働き方改革は「働き方改革関連法」の成立で終わりではありません。産業保健の場でも、これら多様な人の多様な働き方について対応していく必要があります まだ、議論の途中なものも多いのですが、これらの人達の健康管理対策はどのようになるのか考えてみたいと思います。	中山 篤	生涯・更新2	70
2月25日(火) 14:00～16:00	<b>職場の感染症対策</b> 産業医の業務として職場の感染症対策の重要性が増しています。これには季節性インフルエンザなど日常的に発生する感染症だけでなく、結核など特殊な感染症についても十分な対策を構築しておく必要があります。本研修では国内の職場で発生しうる感染症とともに、海外派遣労働者にリスクのある感染症や外国人労働者の感染症についての対策を解説します。	濱田 篤郎	生涯・専門2	70
3月3日(火) 14:00～16:00	<b>働き方改革と快適職場～産業保健に関する最新のトピックスについて解説します～</b> ソフト面の快適職場づくりの考え方について解説します。また、産業保健に関する最新のトピックスについても解説します。	古山 善一	生涯・更新2	70
3月11日(水) 14:00～16:00	<b>労働安全衛生法の理解を深める～法律の趣旨、体系や法律の読み方を理解する～</b> 労働安全衛生法は、昭和47年(1972年)に制定されて以来、48年が経ちました。その間、重大な労働災害の発生や社会情勢の変化に対応するため、数多くの法律改正が行われ、省令や告示の新設、改正は数えきれないくらい行われました。労働安全衛生法と関連の政省令、告示等はますます複雑膨大になってきています。労働安全衛生法の理解を深めていただくために、法令はどのようなプロセスを経て制定されるのかを説明した上で、労働安全衛生法の趣旨、体系、改正の歴史や法律の読み方を分かりやすく解説します。同法の第7章「健康の保持増進の措置」については、詳しく解説します。	荒川 輝雄	生涯・専門2	70
3月13日(金) 14:00～16:00	<b>産業医による自然災害への対応について</b> 自然災害が頻発しており、事業場・労働者においても被ることのあるためこれに対する危機管理対策を、産業医がどのようにしてどこまで関与することができるかを学び、危機回避のための事業場指導に生かすこととする。	石井 義脩	生涯・専門2	70
3月17日(火) 14:00～16:00	<b>健康診断事後措置の具体的事例～ケースカンファレンス～</b> 健康診断の事後措置について、「就業に関する医師等の意見」に焦点をあて、その解説に加えて事例のグループ討議を行います。産業医がどのように事後措置へ関与するのかの理解を深めることを目的とした研修です。	竹田 透	生涯・実地2	40

3月19日(木)	<b>事例検討に学ぶ職場のメンタルヘルス</b>			
14:00～16:00	職場においてメンタルな問題が疑われる事例が発生した際、職場関係者はその評価と対応に迷うことが少なくない。 また、多面的な問題を内包している場合には、人事労務担当者を含め、多職種の関係者の連携が不可欠となる。 本研修では、実際の事例についてグループワークを行いながら、適切なアクセス、プランニング、評価などを学んでいく。	大西 守	生涯・ 実地2	40
3月24日(火)	<b>多様な働き方と労働者の健康管理～新しい働き方をめぐる産業保健の動向～</b>			
14:00～16:00	働き方改革実行計画では副業・兼業の推進、テレワークの推進など新しい柔軟な働き方がしやすい環境整備や治療と仕事、育児、介護のための両立支援、障がい者の就労、各種ハラスメント防止のための対策を推進していくこととなっています。 働き方改革は「働き方改革関連法」の成立で終わりではありません。産業保健の場でも、これら多様な人の多様な働き方について対応していく必要があります まだ、議論の途中なものも多いのですが、これらの人達の健康管理対策はどのようになるのか考えてみたいと思います。	中山 篤	生涯・ 更新2	70
3月30日(月)	<b>職場のメンタルヘルスにおける依存症</b>			
14:00～16:00	人は、気持ちに余裕がなくなるとストレス発散なのか嗜癖に陥り易いものです。例えば、アルコール、薬物、異性やギャンブルなどに。職場のメンタルヘルス問題の背景にも、依存(症)が隠されているかもしれません。一緒に依存症を概観し、症例を考えてみましょう。	長尾 博司	生涯・ 専門2	70
4月2日(木)	<b>多様な働き方と労働者の健康管理～新しい働き方をめぐる産業保健の動向～</b>			
14:00～16:00	働き方改革実行計画では副業・兼業の推進、テレワークの推進など新しい柔軟な働き方がしやすい環境整備や治療と仕事、育児、介護のための両立支援、障がい者の就労、各種ハラスメント防止のための対策を推進していくこととなっています。 働き方改革は「働き方改革関連法」の成立で終わりではありません。産業保健の場でも、これら多様な人の多様な働き方について対応していく必要があります まだ、議論の途中なものも多いのですが、これらの人達の健康管理対策はどのようになるのか考えてみたいと思います。	中山 篤	生涯・ 更新2	70
4月7日(火)	<b>働き方改革と快適職場～産業保健に関する最新のトピックスについて解説します～</b>			
14:00～16:00	ソフト面の快適職場づくりの考え方について解説します。また、産業保健に関する最新のトピックスについても解説します。	古山 善一	生涯・ 更新2	70
4月9日(木)	<b>事業場における治療と仕事の両立支援</b>			
14:00～16:00	がんやメンタルヘルス不調などに罹患した従業員を健康面、人事面からしっかりサポートし治療と就業の両立をはかることは、本人にとっても会社にとっても有意義な取り組みです。本研修では、この両立支援を行う産業医がキーパーソンとしてどのような対応を行うのかを一緒に学びたいと思います。	内田 和彦	生涯・ 専門2	70
4月14日(火)	<b>産業保健と法⑩～職場のハラスメント～</b>			
14:00～16:00	労働施策総合推進法等の改正により、パワーハラスメント対策が事業主の義務となり、セクシュアルハラスメント等の防止対策も強化されます。 ハラスメントに関する判例を基に職場のハラスメントについて解説します。	弁護士 西園寺 直之	生涯・ 更新2	70
4月15日(水)	<b>労働安全衛生法の理解を深める～法律の趣旨、体系や法律の読み方を理解する～</b>			
14:00～16:00	労働安全衛生法は、昭和47年(1972年)に制定されて以来、48年が経ちました。その間、重大な労働災害の発生や社会情勢の変化に対応するため、数多くの法律改正が行われ、省令や告示の新設、改正は数えきれないくらい行われました。労働安全衛生法と関連の政省令、告示等はますます複雑膨大になってきています。労働安全衛生法の理解を深めていただくために、法令はどのようなプロセスを経て制定されるのかを説明した上で、労働安全衛生法の趣旨、体系、改正の歴史や法律の読み方を分かりやすく解説します。同法の第7章「健康の保持増進の措置」については、詳しく解説します。	荒川 輝雄	生涯・ 専門2	70

◆保健師・看護師研修◆

日時	テーマ	講師	単位	定員
2月5日(水) 14:00～16:00	<b>ストレスチェックの集団分析を活用した職場環境改善の取り組みについて</b> ストレスチェックの集団分析を活用した職場環境改善のスタートの仕方について学びます。また、グループワークを予定しており、参加者同士が意見を交換し、自分たちでも職場環境改善がスタートできる、という感覚(自己効力感)を高めることを目的としています。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	社会保険労務士 本山 恭子 社会保険労務士 紺野 由美子	単位なし	20
2月6日(木) 14:00～16:00	<b>産業保健スタッフのための定期健康診断の実際(基礎編)</b> 定期健康診断は産業保健の基礎となるものです。この健診がどのような法律に基づいて行われるのか、誰が行うのか、結果の取り扱いについてどのような規則があるのか等基本的な解説をします。また、実際に職場で困った事、苦勞した事例などありましたらお持ち下さい。皆さんで検討しましょう。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	高山 俊政	単位なし	30
2月10日(月) 14:00～16:00	<b>メンタルヘルス「社内研修の進め方」～ラインケア～</b> ストレスチェック後の結果が蓄積され、より快適な職場環境づくりが進められています。そこに加えてラインケアの必要性が再認識されています。最近関心が高まっているアンガーマネジメントも含めて、有効なメンタルマネジメント方法について解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	松井 知子	単位なし	30
2月12日(水) 14:00～16:00	<b>労働衛生管理の基礎と事例 ～新入社員、一般社員、管理監督者への労働衛生教育の進め方～</b> 基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、二部構成で実施します。第一部でテーマの法律面・現場の実務面の説明をします。 第二部で各企業における「新入社員、一般社員、管理監督者への労働衛生教育の進め方」について「知る、聞く、話す」を基に簡単なセッション(グループワーク)を行います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	吉田 守	単位なし	20
2月17日(月) 14:00～16:00	<b>実践的な職場復帰支援に向けて／事例を通して ～メンタルヘルス不調、がん等の支援～</b> 健康管理体制が整いつつも、休業・休職に至る社員の職場復帰支援はありますでしょうか。ケースごとに異なるが、基本を押さえながら、自社の職場復帰支援プログラムに沿いながら、メンタルヘルス、がん等の「治療と仕事の両立支援」を一緒に考えましょう。長く付き合う病気と言えるようになった今、がんの種類や診断名が同じでも病状や経過は個人差があります。その状態やプロセスを知り、できる必要な支援等を考えていきましょう。病院と企業の橋渡しの存在の両立支援コーディネーター、そんな関わり方なども一緒に考えていきましょう。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	菅野 由喜子	単位なし	30
2月19日(水) 14:00～16:30	<b>労働安全衛生法の理解を深める～法律の趣旨、体系や法律の読み方を理解する～</b> 労働安全衛生法は、昭和47年(1972年)に制定されて以来、48年が経ちました。その間、重大な労働災害の発生や社会情勢の変化に対応するため、数多くの法律改正が行われ、省令や告示の新設、改正は数えきれないくらい行われました。労働安全衛生法と関連の政省令、告示等はますます複雑膨大になってきています。労働安全衛生法の理解を深めていただくために、法令はどのようなプロセスを経て制定されるのかを説明した上で、労働安全衛生法の趣旨、体系、改正の歴史や法律の読み方を分かりやすく解説します。同法の第7章「健康の保持増進の措置」については、詳しく解説します。 ※本研修の研修時間は2.5時間(午後2時00分～午後4時30分)です。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	荒川 輝雄	単位なし	20
2月27日(木) 14:00～16:00	<b>多様な働き方と労働者の健康管理～新しい働き方をめぐる産業保健の動向～</b> 働き方改革実行計画では副業・兼業の推進、テレワークの推進など新しい柔軟な働き方がしやすい環境整備や治療と仕事、育児、介護のための両立支援、障がい者の就労、各種ハラスメント防止のための対策を推進していくこととなっています。 働き方改革は「働き方改革関連法」の成立で終わりではありません。産業保健の場でも、これら多様な人の多様な働き方について対応していく必要があります まだ、議論の途中なものも多いのですが、これらの人達の健康管理対策はどのようになるのか考えてみたいと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	中山 篤	単位なし	30
2月28日(金) 14:00～16:00	<b>職場のメンタルヘルス対策とハラスメント対策</b> 「職場のいじめ・嫌がらせ」行為は職場の秩序を乱し、労働者の勤労意欲の阻害や生産性の低下をもたらし、さらに労働者のメンタル不調の原因となるなど、様々な影響を及ぼします。 ハラスメント対策を中心としたメンタルヘルス対策をポジティブに展開し、企業イメージの向上、社員のモチベーションアップ、離職率の低下、生産性の向上などにつなげられるよう、具体的な対策・防止措置を考えていきたいと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	産業心理カウンセラー 森井 梢江	単位なし	30

3月5日(木) 14:00～16:30	<p><b>「化学物質のリスクアセスメント」の義務化について</b></p> <p>平成28年6月より改正労働安全衛生法により施行された「化学物質のリスクアセスメント」の義務化について、法改正の内容、事業場における対応、コントロールバンディングとは？、検知管を用いたリスクアセスメントの手法、個人ばく露濃度測定等を中心に、保健師、看護師、人事労務担当者、衛生管理者等を対象に「化学物質のリスクアセスメント」について解説します。 ※本研修の研修時間は2.5時間(午後2時00分～午後4時30分)です。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	市川 英一	単位なし	30
3月6日(金) 13:30～16:30	<p><b>職場の喫煙環境対策の進め方・労働衛生保護具の選定について ～測定機器の操作・測定実習～</b></p> <p>職場の喫煙環境対策のために「デジタル粉じん計」や「スモークテスター」等の測定機器を用いた測定実習や防塵、防毒マスクを使用したマスクテスターによる実習、耳栓チェッカーを使用した騒音実習等を行います。 ※本研修の研修時間は3時間(午後1時30分～午後4時30分)です。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	市川 英一	単位なし	20
3月10日(火) 14:00～16:00	<p><b>産業保健と法⑱～職場のハラスメント～</b></p> <p>労働施策総合推進法等の改正により、パワーハラスメント対策が事業主の義務となり、セクシュアルハラスメント等の防止対策も強化されます。 ハラスメントに関する判例を基に職場のハラスメントについて解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	弁護士 西園寺 直之	単位なし	30
3月16日(月) 14:00～16:00	<p><b>ストレスチェック制度4年経過、個人・集団分析結果を活かすためには ～本人の気づきとともに職場環境改善へスタートしませんか～</b></p> <p>働きやすい職場って、どんなイメージでしょうか。 ストレスチェック実施4年目が経過しました。初回と比較して変化はいかがでしょうか。 実施義務だから実施するだけでなく、両輪である集団集計・分析「仕事のストレス判定図」の活用はいかがでしょうか。職場環境改善に目を向けていますか。 メンタルヘルス不調未然防止の基本に向け、働きやすい職場づくりにおけるハードルとは何か、そのハードルへの対処方法は？ 職場の良い点や強みを見つけながら職場環境改善策をグループで考えていきましょう。高ストレス者をそのままにしない方策も検討しましょう。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	菅野 由喜子	単位なし	30
3月26日(木) 14:00～16:00	<p><b>多様な働き方と労働者の健康管理～新しい働き方をめぐる産業保健の動向～</b></p> <p>働き方改革実行計画では副業・兼業の推進、テレワークの推進など新しい柔軟な働き方がしやすい環境整備や治療と仕事、育児、介護のための両立支援、障がい者の就労、各種ハラスメント防止のための対策を推進していくこととなっています。 働き方改革は「働き方改革関連法」の成立で終わりではありません。産業保健の場でも、これら多様な人の多様な働き方について対応していく必要があります まだ、議論の途中文なものも多いのですが、これらの人達の健康管理対策はどのようになるのか考えてみたいと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	中山 篤	単位なし	30
4月10日(金) 14:00～16:00	<p><b>労働衛生管理の基礎と事例 ～ハラスメントを発生させない快適職場環境を形成するために～</b></p> <p>基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、二部構成で実施します。第一部でテーマの法律面・現場の実務面の説明をします。 第二部で各企業における「ハラスメントを発生させない快適職場環境を形成するために」について「知る、聞く、話す」を基に簡単なセッション(グループワーク)を行います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	吉田 守	単位なし	20
4月16日(木) 14:00～16:00	<p><b>「メンタルヘルス・マネジメント入門」～社員を円滑に専門家につなぐ方法～</b></p> <p>社員にメンタルヘルス不調が発生した場合、その社員が医療、もしくは産業保健スタッフに繋がるまでは、主に管理監督者もしくは人事労務担当者が関わることになります。 そこで、社員を精神科に繋げるためには、精神科が必要だという根拠を示し、かつ精神科の受診を勧めるという勧奨スキルも重要となります。個人情報ややりとりにも、丁寧に「同意を取る」関わりが必要です。本研修では、社員を円滑に専門家につなげるための方法について解説を行います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	(株)ジャパンEAP システムズ 臨床心理士 松本 桂樹	単位なし	30
4月21日(火) 14:00～16:30	<p><b>新型うつ、適応障害、発達障害、いわゆる「グレーゾーン」とどうつきあうか、育て直しの職場コミュニケーションを考える</b></p> <p>新型うつ、適応障害、発達障害など職場の不適応は軽症化するものの多様化が進んでいる。診断がつくほどではないが(弱い疾病性)、症状が隠れていて本人も周囲も気づきにくい困っている(強い事例性)ケースに職場はどうつきあっていけばいいの。コミュニケーションの取り方を変えて「育て直し」していくことを考えていきます。 (研修の内容は前回開催(令和2年1月14日)と同内容です。) ※本研修の研修時間は2.5時間(午後2時00分～午後4時30分)です。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	廣川 進	単位なし	30

<p>4月23日(木) 14:00～16:00</p>	<p><b>労働安全衛生管理基礎講座①</b></p> <p>「労働安全衛生法」の中で労働者の健康管理(衛生管理)に関連する条文は数多くあり、また、付随する規則類も多岐にわたります。</p> <p>本講座はではテキストに当センター発行「令和元年度版労働衛生のハンドブック」を使用し、法令に基づく労働衛生管理の基礎について4月から毎月4回に分けてわかりやすく解説します。また労働衛生に関する最新の動向もご紹介します。</p> <p>今回はその一回目で、労働安全衛生法とは？その中には何が書かれているのかなど労働安全衛生法及び関係する諸規則等の全般について解説します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2回目は、安全衛生管理体制、健康診断等健康管理等</li> <li>・3回目は、心と身体健康づくり(メンタルヘルス、過重労働による健康障害防止対策を含む)、職業性疾病等</li> <li>・4回目は、快適職場、作業環境測定等の他、過重労働による健康障害防止対策にとって重要な労働基準法(労働時間管理関係)を予定しています。</li> </ul> <p>なお、「令和元年度版労働衛生のハンドブック」をお持ちの方はご持参ください(お持ちでない方は当日差上げます)。</p> <p>(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	<p>中山 篤</p>	<p>単位なし</p>	<p>30</p>
<p>4月24日(金) 14:00～16:00</p>	<p><b>働く人の健康づくりは日常生活の動作改善から ～「転倒防止」「腰痛・肩こり予防」～</b></p> <p>働く人の身体機能低下による「腰痛」「肩こり」の慢性化、「転倒」などの労働災害が増加しています。</p> <p>この講習会では、関節などにふれながら骨、筋肉、関節を連動して動かす「骨ストレッチ」を紹介していきます。骨ストレッチを行うと、日常生活の動作の筋肉への負担が減り、楽に動けるようになるので「腰痛」「肩こり」などの予防になります。また、骨・筋肉・関節が連動して動くので脚も上がりやすくなり、「転倒」災害の防止につながります。</p> <p>実技を交えながらの講習会ですが、普段着で年齢に関係なく、誰でもその場で簡単に実施できます。また、職場で無理なく展開できる方法について紹介しますので、この機会に体験していただき職場の健康づくりに役立てていただきたいと思います。</p> <p>(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	<p>スポーツケア 整体研究所 (株) 小沼 博子</p>	<p>単位なし</p>	<p>20</p>



◆人事・労務・衛生管理者研修◆

日時	テーマ	講師	定員
2月5日(水) 14:00～16:00	<b>ストレスチェックの集団分析を活用した職場環境改善の取り組みについて</b> ストレスチェックの集団分析を活用した職場環境改善のスタートの仕方について学びます。また、グループワークを予定しており、参加者同士が意見を交換し、自分たちでも職場環境改善がスタートできる、という感覚(自己効力感)を高めることを目的としています。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	社会保険労務士 本山 恭子 社会保険労務士 紺野 由美子	20
2月6日(木) 14:00～16:00	<b>産業保健スタッフのための定期健康診断の実際(基礎編)</b> 定期健康診断は産業保健の基礎となるものです。この健診がどのような法律に基づいて行われるのか、誰が行うのか、結果の取り扱いについてどのような規則があるのか等基本的な解説をします。また、実際に職場で困った事、苦勞した事例などありましたらお持ち下さい。皆さんで検討しましょう。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	高山 俊政	40
2月10日(月) 14:00～16:00	<b>メンタルヘルス「社内研修の進め方」～ラインケア～</b> ストレスチェック後の結果が蓄積され、より快適な職場環境づくりが進められています。そこに加えてラインケアの必要性が再認識されています。最近関心が高まっているアンガーマネジメントも含めて、有効なメンタルマネジメント方法について解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	松井 知子	40
2月12日(水) 14:00～16:00	<b>労働衛生管理の基礎と事例 ～新入社員、一般社員、管理監督者への労働衛生教育の進め方～</b> 基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、二部構成で実施します。第一部でテーマの法律面・現場の実務面の説明をします。第二部で各企業における「新入社員、一般社員、管理監督者への労働衛生教育の進め方」について「知る、聞く、話す」を基に簡単なセッション(グループワーク)を行います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	吉田 守	50
2月17日(月) 14:00～16:00	<b>実践的な職場復帰支援に向けて／事例を通して ～メンタルヘルス不調、がん等の支援～</b> 健康管理体制が整いつつも、休業・休職に至る社員の職場復帰支援はありますでしょう。ケースごとに異なるが、基本を押さえながら、自社の職場復帰支援プログラムに沿いながら、メンタルヘルス、がん等の「治療と仕事の両立支援」を一緒に考えましょう。長く付き合う病気と言えるようになった今、がんの種類や診断名が同じでも病状や経過は個人差があります。その状態やプロセスを知り、できる必要な支援等を考えていきましょう。病院と企業の橋渡しの存在の両立支援コーディネーター、そんな関わり方なども一緒に考えていきましょう。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	菅野 由喜子	40
2月19日(水) 14:00～16:30	<b>労働安全衛生法の理解を深める～法律の趣旨、体系や法律の読み方を理解する～</b> 労働安全衛生法は、昭和47年(1972年)に制定されて以来、48年が経ちました。その間、重大な労働災害の発生や社会情勢の変化に対応するため、数多くの法律改正が行われ、省令や告示の新設、改正は数えきれないくらい行われました。労働安全衛生法と関連の政省令、告示等はますます複雑膨大になってきています。労働安全衛生法の理解を深めていただくために、法令はどのようなプロセスを経て制定されるのかを説明した上で、労働安全衛生法の趣旨、体系、改正の歴史や法律の読み方を分かりやすく解説します。同法の第7章「健康の保持増進の措置」については、詳しく解説します。 ※本研修の研修時間は2.5時間(午後2時00分～午後4時30分)です。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	荒川 輝雄	50
2月27日(木) 14:00～16:00	<b>多様な働き方と労働者の健康管理～新しい働き方をめぐる産業保健の動向～</b> 働き方改革実行計画では副業・兼業の推進、テレワークの推進など新しい柔軟な働き方がしやすい環境整備や治療と仕事、育児、介護のための両立支援、障がい者の就労、各種ハラスメント防止のための対策を推進していくこととなっています。働き方改革は「働き方改革関連法」の成立で終わりではありません。産業保健の場でも、これら多様な人の多様な働き方について対応していく必要があります。まだ、議論の途中なものも多いのですが、これらの人達の健康管理対策はどのようになるのか考えてみたいと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	中山 篤	40
2月28日(金) 14:00～16:00	<b>職場のメンタルヘルス対策とハラスメント対策</b> 「職場のいじめ・嫌がらせ」行為は職場の秩序を乱し、労働者の勤勞意欲の阻害や生産性の低下をもたらす、さらに労働者のメンタル不調の原因となるなど、様々な影響を及ぼします。ハラスメント対策を中心としたメンタルヘルス対策をポジティブに展開し、企業イメージの向上、社員のモチベーションアップ、離職率の低下、生産性の向上などにつなげられるよう、具体的な対策・防止措置を考えていきたいと思ひます。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	産業心理カウンセラー 森井 梢江	40

3月5日(木) 14:00～16:30	<p><b>「化学物質のリスクアセスメント」の義務化について</b></p> <p>平成28年6月より改正労働安全衛生法により施行された「化学物質のリスクアセスメント」の義務化について、法改正の内容、事業場における対応、コントロールバンディングとは？、検知管を用いたリスクアセスメントの手法、個人ばく露濃度測定等を中心に、保健師、看護師、人事労務担当者、衛生管理者等を対象に「化学物質のリスクアセスメント」について解説します。 ※本研修の研修時間は2.5時間(午後2時00分～午後4時30分)です。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	市川 英一	40
3月6日(金) 13:30～16:30	<p><b>職場の喫煙環境対策の進め方・労働衛生保護具の選定について ～測定機器の操作・測定実習～</b></p> <p>職場の喫煙環境対策のために「デジタル粉じん計」や「スモークテスター」等の測定機器を用いた測定実習や防塵、防毒マスクを使用したマスクテスターによる実習、耳栓チェッカーを使用した騒音実習等を行います。 ※本研修の研修時間は3時間(午後1時30分～午後4時30分)です。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	市川 英一	10
3月10日(火) 14:00～16:00	<p><b>産業保健と法⑱～職場のハラスメント～</b></p> <p>労働施策総合推進法等の改正により、パワーハラスメント対策が事業主の義務となり、セクシュアルハラスメント等の防止対策も強化されます。 ハラスメントに関する判例を基に職場のハラスメントについて解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	弁護士 西園寺 直之	40
3月16日(月) 14:00～16:00	<p><b>ストレスチェック制度4年経過、個人・集団分析結果を活かすためには ～本人の気づきとともに職場環境改善へスタートしませんか～</b></p> <p>働きやすい職場って、どんなイメージでしょうか。 ストレスチェック実施4年目が経過しました。初回と比較して変化はいかがでしょうか。 実施義務だから実施するだけでなく、両輪である集団集計・分析「仕事のストレス判定図」の活用はいかがでしょうか。職場環境改善に目を向けていますか。 メンタルヘルス不調未然防止の基本に向け、働きやすい職場づくりにおけるハードルとは何か、そのハードルへの対処方法は？ 職場の良い点や強みを見つけながら職場環境改善策をグループで考えていきましょう。高ストレス者をそのままにしない方策も検討しましょう。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	菅野 由喜子	40
3月26日(木) 14:00～16:00	<p><b>多様な働き方と労働者の健康管理～新しい働き方をめぐる産業保健の動向～</b></p> <p>働き方改革実行計画では副業・兼業の推進、テレワークの推進など新しい柔軟な働き方がしやすい環境整備や治療と仕事、育児、介護のための両立支援、障がい者の就労、各種ハラスメント防止のための対策を推進していくこととなっています。 働き方改革は「働き方改革関連法」の成立で終わりではありません。産業保健の場でも、これら多様な人の多様な働き方について対応していく必要があります まだ、議論の途中なものも多いのですが、これらの人達の健康管理対策はどのようになるのか考えてみたいと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	中山 篤	40
4月10日(金) 14:00～16:00	<p><b>労働衛生管理の基礎と事例 ～ハラスメントを発生させない快適職場環境を形成するために～</b></p> <p>基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、二部構成で実施します。第一部でテーマの法律面・現場の実務面の説明をします。 第二部で各企業における「ハラスメントを発生させない快適職場環境を形成するために」について「知る、聞く、話す」を基に簡単なセッション(グループワーク)を行います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	吉田 守	50
4月16日(木) 14:00～16:00	<p><b>「メンタルヘルス・マネジメント入門」～社員を円滑に専門家につなぐ方法～</b></p> <p>社員にメンタルヘルス不調が発生した場合、その社員が医療、もしくは産業保健スタッフに繋がるまでは、主に管理監督者もしくは人事労務担当者に関わることになります。 そこで、社員を精神科に繋げるためには、精神科が必要だという根拠を示し、かつ精神科の受診を勧めるという勧奨スキルも重要となります。個人情報ややりとりにも、丁寧に「同意を取る」関わりが必要です。本研修では、社員を円滑に専門家につなげるための方法について解説を行います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	(株)ジャパンEAPシステムズ 臨床心理士 松本 桂樹	40
4月21日(火) 14:00～16:30	<p><b>新型うつ、適応障害、発達障害、いわゆる「グレーゾーン」とどうつきあうか、育て直しの職場コミュニケーションを考える</b></p> <p>新型うつ、適応障害、発達障害など職場の不適応は軽症化するものの多様化が進んでいる。診断がつくほどではないが(弱い疾病性)、症状が隠れていて本人も周囲も気づきにくい(強い事例性)ケースに職場はどうつきあうべきか。コミュニケーションの取り方を変えて「育て直し」していくことを考えていきます。 (研修の内容は前回開催(令和2年1月14日)と同内容です。) ※本研修の研修時間は2.5時間(午後2時00分～午後4時30分)です。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	廣川 進	40

<p>4月23日(木) 14:00～16:00</p>	<p><b>労働安全衛生管理基礎講座①</b></p> <p>「労働安全衛生法」の中で労働者の健康管理(衛生管理)に関連する条文は数多くあり、また、付随する規則類も多岐にわたります。</p> <p>本講座ではテキストに当センター発行「令和元年度版労働衛生のハンドブック」を使用し、法令に基づく労働衛生管理の基礎について4月から毎月4回に分けてわかりやすく解説します。また労働衛生に関する最新の動向もご紹介します。</p> <p>今回はその一回目で、労働安全衛生法とは？その中には何が書かれているのかなど労働安全衛生法及び関係する諸規則等の全般について解説します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2回目は、安全衛生管理体制、健康診断等健康管理等</li> <li>・3回目は、心と身体健康づくり(メンタルヘルス、過重労働による健康障害防止対策を含む)、職業性疾病等</li> <li>・4回目は、快適職場、作業環境測定等の他、過重労働による健康障害防止対策にとって重要な労働基準法(労働時間管理関係)を予定しています。</li> </ul> <p>なお、「令和元年度版労働衛生のハンドブック」をお持ちの方はご持参ください(お持ちでない方は当日差上げます)。</p> <p>(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	<p>中山 篤</p>	<p>40</p>
<p>4月24日(金) 14:00～16:00</p>	<p><b>働く人の健康づくりは日常生活の動作改善から ～「転倒防止」「腰痛・肩こり予防」～</b></p> <p>働く人の身体機能低下による「腰痛」「肩こり」の慢性化、「転倒」などの労働災害が増加しています。</p> <p>この講習会では、関節などにふれながら骨、筋肉、関節を連動して動かす「骨ストレッチ」を紹介していきます。骨ストレッチを行うと、日常生活の動作の筋肉への負担が減り、楽に動けるようになるので「腰痛」「肩こり」などの予防になります。また、骨・筋肉・関節が連動して動くので脚も上がりやすくなり、「転倒」災害の防止につながります。</p> <p>実技を交えながらの講習会ですが、普段着で年齢に関係なく、誰でもその場で簡単に実施できます。また、職場で無理なく展開できる方法について紹介しますので、この機会に体験していただき職場の健康づくりに役立てていただきたいと思います。</p> <p>(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	<p>スポーツケア整体 研究所(株) 小沼 博子</p>	<p>20</p>
<p>4月28日(火) 14:00～16:30</p>	<p><b>がんをもつ労働者と職場へのより良い支援のために ～治療と就労のバランスを支えるヒント～</b></p> <p>今回の研修では、近年増えているがんをもつ労働者が、治療と就労のバランスをとれるようにすることを目指して、どのような支援が望まれるか、どのように支援を進めるかについて、事例検討を含めて学びます。</p> <p>※本研修ではグループワークを行います。</p> <p>※本研修の研修時間は2.5時間(午後2時00分～午後4時30分)です。</p>	<p>錦戸 典子 佐々木 美奈子</p> <p>社会保険労務士 本山 恭子</p>	<p>30</p>